

## 秋の寺掃除



10月22日、檀信徒の皆さまにご協力を頂き境内のお掃除をいたしました。年数を重ねてきたので、いつの間にか担当の場所と道具が出来て、お願いをしなくてもそれぞれの場所に、そして作業も手早く、私一人でやったら一か月くらいかかる作業を、あつという間に終えることができました。

皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

## 「海の弔い」合同散骨

10月26日、海の弔いに申し込まれた方々の合同散骨をいたしました。

本堂において、ご家族と共に法要をし、その後に住職とスタッフが乗船、外洋にて読経をしながら散骨をいたします。

一般的な海洋散骨とは違い、供養塔において供養が続く海の弔いは新たな供養の形です。大切にしている事は供養が続いていくこと、家族が手を合わせる場所があり、亡くなった方とご家族がつながりを感じる場所があるという事です。「海の弔い」は亡くなった方、生きていらっしゃる方、共に納得できる形で在りたいと思いを合います。



## お墓のみとり

「お墓のみとり」という言葉を知っていらっしゃるでしょうか？

墓じまいという言葉は、世の中にだいぶ浸透してきました。

お墓のみとりとは、その墓じまいを、ご家族が亡くなってから代行して行うことを言います。

今までは、お墓に継承者がいない場合、誰かしら家族が元気なうちに、お墓を閉じなければなりませんでした。ですが、選択肢の一つとして家族の最後の誰かが亡くなった後、数年を経てからお墓の形態を変えるための手立てが出来ました。

これは横須賀の大橋石材店さんが始めた取り組みですが、妙海寺でもできると考えております。

お墓の後継者問題は、誰にとっても切実です。たとえ自分が亡くなったとしても、安心して委ねることが出来れば、漠然とした不安からは逃れることができます。

すこしでも不安を感じられているかたがおられましたら、ご相談ください。お墓の今後の在り方を一緒に考えてまいります。